

次号予告

特集 国際人道法遵守のためのロボット運用システム

科学技術・イノベーションと国際安全保障法制

- 自律型兵器システムの適正な研究開発利用のための法的視座—……………黒崎将広 (防衛大学校)
テラヘルツ波を用いた金属物検知……………山田俊輔 (防衛大学校)
遠隔操作マニピュレータによるボディチェック……………辻田哲平・北原理匡・松島駿介 (防衛大学校)
クローラ型移動ロボットを用いた路面状況の評価方法……………江藤亮輔 (防衛大学校)
混雑環境における移動検問ロボットの開発およびOR手法の応用の検討
……………佐久間大・辻田哲平 (防衛大学校), 富沢哲雄 (東京工業高等専門学校)

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧に必要なユーザー名とパスワードは、会員マイページに掲載しています。

編集後記

●本号の特集にて、改めてデータの重要性、面白さを認識させていただいた。統計学リテラシーという言葉とともに、世間でも広くデータの大切さが認められたのも、今はかなり昔のことに感じる。ICT技術の進展により、データの取得や保管、受け渡しが容易になったことで、データの質と量が飛躍的に拡充したことはもちろん、そのデータを取り扱う手法の進展も同じくらい重要なことを再認識する。毎年、本誌を彩ってくださる「データ解析コンペティション」には感謝しかない。また、私が所属している大学でも2021年度にデータサイエンス学部が開設されており、本号での教育実践事例や企業における組織支援の在り方など、時宜を得ており大変有難かった。

●さて、2022年の日本の夏は、新型コロナウイルス

感染症の新規感染者数が連日数万人を超えている（本号が皆様のお手元に届くころには、多少は落ち着いていることを祈りつつ）。これらのデータも日々公開されており、多くの人が、自ら考えることができる時代であることに感謝したい。ただ、LINEアカウント「東京都 新型コロナ対策パーソナルサポート」からの感染者数等の毎日の通知の変遷をながめてみると、当初は新規感染者数のみの発表（2020年7月～10月）しかなかった。2020年10月ようやく検査実施件数も併せて通知された。当日の発生件数に新規陽性者数7日間移動平均の情報も追加されたのは2021年2月からであった。得られたデータで何をどこまで判断できるのか、本誌を通してより人口に膾炙して欲しい。

(小林隆史)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 野々部 宏司 (法政大学)

特集担当編集委員 大竹 恒平 (東海大学)

委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 梅谷 俊治 (大阪大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和4年9月号 第67巻 第9号 通巻741号

代表者 山上 伸

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。